

中泊町(薄市下地区) 土砂災害ハザードマップ[®]

凡 例

 土砂災害警戒区域
「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域」

 土砂災害特別警戒区域
「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民の生命又は身体に著しい危険が生ずるおそれがあると認められる土地の区域」

 避難場所

 避難経路
※本マップの航空写真は、平成25年に撮影したものを使用しております。

区域番号：383-Ⅱ-7_玉清水沢2
(土石流)

区域番号：383-I-1_花持沢
(土石流)

区域番号：I-636_花持3号
(急傾斜地の崩壊)

区域番号：Ⅱ-550_花持4号
(急傾斜地の崩壊)

区域番号：383-Ⅱ-5_昆布掛沢
(土石流)

区域番号：383-Ⅱ-6_玉清水沢
(土石流)

区域番号：I-637_花持
(急傾斜地の崩壊)

区域番号：I-638_玉清水
(急傾斜地の崩壊)

区域番号：Ⅱ-551_玉清水2号
(急傾斜地の崩壊)

区域番号：Ⅱ-552_玉清水3号
(急傾斜地の崩壊)

区域番号：Ⅱ-553_玉清水4号
(急傾斜地の崩壊)

区域番号：人Ⅱ-14001_玉清水7号
(急傾斜地の崩壊)

区域番号：I-639_玉清水5号
(急傾斜地の崩壊)

区域番号：Ⅱ-554_玉清水6号
(急傾斜地の崩壊)

内潟公民館

1:5,000

0 100 200 400 600
メートル

※航空写真はGEOSPACE航空写真を使用しました。

Copyright©エヌ・ティ・ティ・インフラネットAll Rights Reserved

土砂災害に備えて

お問い合わせ先 ■中泊町役場 総務課
■青森県 西北地域県民局 地域整備部
■青森県 県土整備部 河川砂防課

電話番号0173-57-2111
電話番号0173-34-2111
電話番号017-722-1111

土砂災害や水害は大雨などに伴って発生しますが、いつどこで起きるかを正確に予測することは困難です。私たちは、災害が発生しそうなときや災害が発生してしまったときに被害を最小限に食い止められるよう、日常から災害を意識し、これに対する訓練を心がけておく必要があります。

土砂災害ハザードマップ（防災地図）は、集中豪雨などによって「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」などが発生した場合に、危害がおよぶおそれがある範囲や、各地区の避難場所などを示した地図です。

また、このような時には浸水被害なども生じる可能性があります。

集中豪雨などにより土砂災害などが発生するおそれがあるときには、テレビ・ラジオ等の最新情報に注意し、状況に応じて速やかに安全な場所へ避難してください。いざというときに備え、あなたの家の近くの安全な避難場所やそこまでの道順を確認しておきましょう。

なお、この地図に示した区域以外のところでも土砂災害は発生することがありますので、現地の状況には十分注意し、危険を感じたら近づかないようにしてください。

令和7年2月 中泊町

■土砂災害の種類と前兆

土砂災害の3つのタイプ		こんな前兆には要注意！
がけ崩れ	 大雨によって土の抵抗力が弱まり、斜面が突然崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、一瞬にして崩れ落ちるため、逃げ遅れる人も多く、大きな被害をもたらします。	がけ崩れの前兆 ●がけからの水がにごる ●がけに亀裂が入る ●小石が落ちてくる ●がけから異様な音がする 地すべりの前兆 ●地面にひび割れができる ●井戸や沢の水がにごる ●斜面から水が湧き出す
土石流	 谷や斜面に堆積した土砂が大雨によって水と一しょに一気に流れ出す現象です。流れが速く、破壊力も大きいので、ばく大な被害をもたらします。	
地滑り	 比較的ゆるやかな斜面で起こりやすく、地下水などの影響によって斜面全体がゆっくりと動き出す現象をいいます。場合によっては一気に滑り出すこともあります。	土石流の前兆 ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる ●山鳴りがする ●立ち木のさける音、石のぶつかりあう音が聞こえる ●川の水が急ににごったり、流木が混ざる

■土砂災害における警戒避難行動の流れ

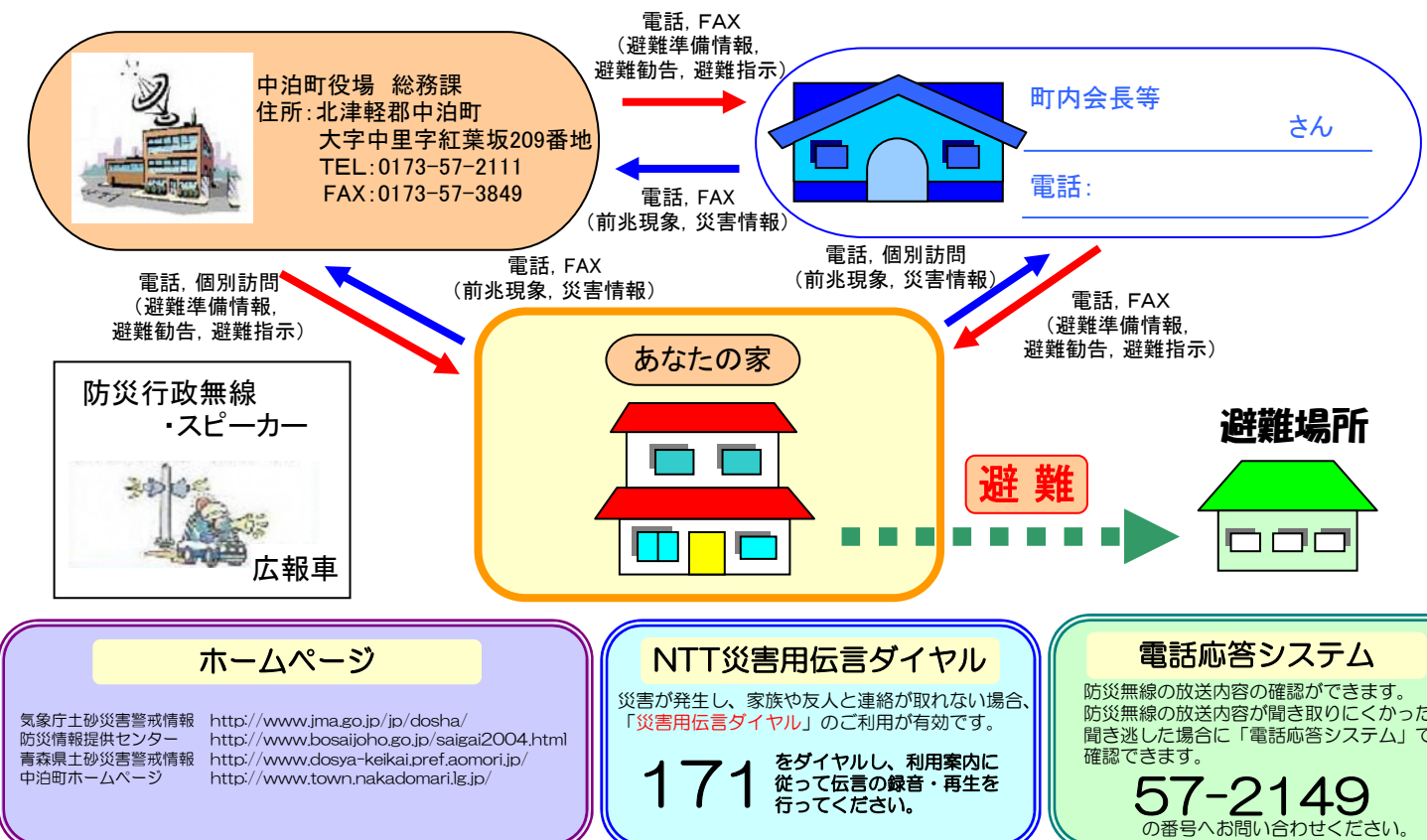
①土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう！

②雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報、予報、警報等の情報を入力しましょう！

③前兆現象を見つけたら、直ちに町内会長、役場などに連絡しましょう！

④危険を感じたときや避難勧告などがあった場合は、直ちに避難しましょう！

■気象情報や避難情報の伝わり方



いざというときに備えて、地区の連絡網などをもう一度確認しておきましょう。

非常持ち出し品チェックリスト				＜あなたの命を守るために＞		
	飲料水(ペットボトル)		雨具	万一、安全な場所へ避難できない場合でも、生命を守る最低限の行動として、近くで周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の堅固な建物)の2階以上に避難するようにしてください。このとき、斜面や渓流に対して反対側の部屋にいる方がより安全です。		
	乾パン		ヘルメット			
	缶詰		軍手			
	粉ミルク		懐中電灯			
	医薬品		ろうそく			
	常備薬		マッチ			
	貴重品		携帯ラジオ			
	下着類		電池			
	セーター		缶切			
	タオル		ナイフ	中泊町指定避難場所(薄市下地区)		
常 備 品						
	インスタント食品		消火器	施設名	所在地	電話番号
	飲料水(ポリタンク)		固形燃料	内湯公民館	薄市字飛石29-5	58-3723
				災害の状況に応じて避難先が安全か十分に確認しましょう		
わ が 家 の 防 災 メ モ						
わ が 家 の 安 全 な 避 難 場 所						
指 定 避 難 施 設						
家 族 が 離 れ ば な れ に な っ た と き の 集 合 場 所						
家族の連絡先				いざというときの連絡先		
氏名		電話		連絡先		メモ
				中泊町役場(代表)		57-2111
				中里消防署		57-2370
				内湯駐在所		58-2351